

もり
森林を活かすプランナー育成サポート事業（新規）
【40百万円】

対策のポイント

作業箇所をまとめた効率的な間伐(集約化施業)を進めるために、作業方法、収支見込等の具体的なプランを作り、所有者に働きかける人材(森林施業プランナー)の能力向上や増員を図ります。

<背景/課題>

- ・森林吸収目標の達成と森林資源の有効活用に向け、集約化施業や路網整備を加速化し、利用間伐の効率化と拡大が必要。
- ・地域の林業事業者が集約化施業の取組を本格化するには、核となる人材の確保を緊急に行うことが必要。
- ・平成19年度から平成21年度において、約700人が森林施業プランナー育成に係る基礎的な研修を修了。

政策目標

集約化施業に取り組む林業経営体・事業者が平成23年度末までに全ての私有林をカバーできる体制を構築

<内容>

1. 森林施業プランナー等能力向上サポート研修

森林施業プランナー育成に係る基礎的な研修の修了後、集約化施業の取組を開始したものの、その取組が遅れている林業事業者の森林施業プランナー及び経営者を対象に、集約化施業の取組を早急に本格化させるための集合研修を実施します。(森林施業プランナー160人を育成)

2. 森林施業プランナー増員のための専門家派遣

平成22年度に集約化施業の実施を拡大する予定があり、緊急的に森林施業プランナーを増員しようとする林業事業者を対象に、基本的な知識・技術を個別に指導する専門家を派遣します。(森林施業プランナー20人を育成)

補助率：定額
事業実施主体：民間団体

(お問い合わせ先：林野庁経営課 (03-6744-2288(直)))